

2022年11月17日

西宮病態モデル研究センター利用者各位

西宮病態モデル研究センター

## 年末年始等長期休暇期間中の動物実験に関する留意点について

年末年始等の長期休暇を迎えるにあたり、西宮病態モデル研究センターにおいて、動物実験に関する留意点を連絡させていただきます。センター職員が不在になり、飼育エリア内での繁殖動物のトラブル、実験関係のトラブルに対応が難しくなることから、適正な飼育環境を維持するためにも、以下の注意点をご確認いただきますよう、ご協力の程よろしく願いいたします。

1. 昨年の外部検証の受検以降ケージ内飼育匹数が適正でないものが散見されており、年末年始に過剰な繁殖や使用予定のないケージがないように以下の点にご注意ください。
  - ・ 繁殖ケージの飼育匹数が過密（5匹以上）にならないように注意する
  - ・ 年末年始等長期休暇期間中に出産・仔分けがなるべく重ならないようにする（現場スタッフの確認作業等の負担軽減及び事故防止のため）
  - ・ 実験で使用予定のないケージは処分する
2. 年末年始等長期休暇期間中は、飼育エリア内での繁殖動物のトラブル、実験関係トラブル（特食・特水を含む）が発生した場合は、当該研究者へ連絡がつかず対応に苦慮することがあることから、西宮病態モデル研究センターへの連絡体制、当該研究者がいつでも対応できるよう講座内での連絡体制を整えていただくようお願いいたします。継続実験（例：モデル作成などで長期投与実験など）でやむを得ない場合は、必要に応じて必ず繋がる連絡先を管理室まで届け出てください。なお、連絡がつかない場合は、通常に対応（特水の場合は通常の給水瓶に変更など）を取りますので予めご了承ください。

以上